

# 土砂崩壊災害防止のために 土止め支保工を設置しましょう！

空知管内で、土止め支保工を設置しなかったことで掘削面が崩壊し、作業中の労働者が死亡する災害が多発しています！

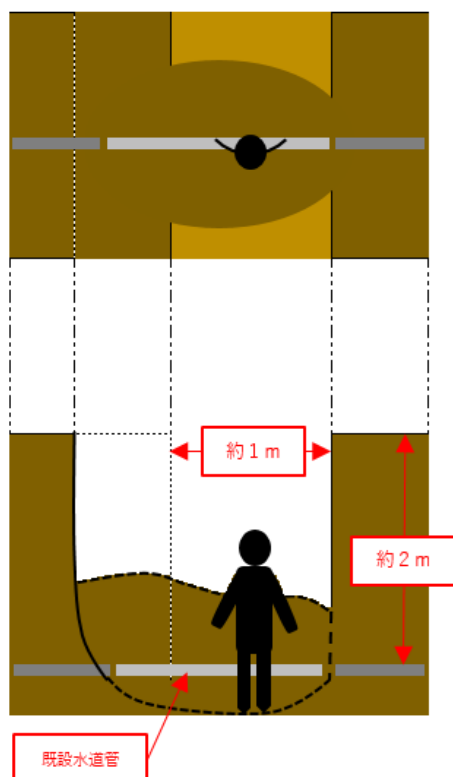
## 事例 1 令和4年10月発生（災害発生場所：岩見沢署管内の排水管路工事現場）

労働者2名が、重機を用いて掘削した深さ約2mの溝に入り、既設の水道管の下に新たに排水管を埋設しようとしたところ、掘削面の崩壊が起こり、労働者2名が生き埋めになった。

このうち胸付近まで埋まった1名が**死亡**した。

掘削面の勾配はほぼ垂直であったが、**土止め支保工は設置されていなかった。**

災害発生現場略図



## 事例 2 令和4年11月発生（災害発生場所：滝川署管内の用水路工事現場）

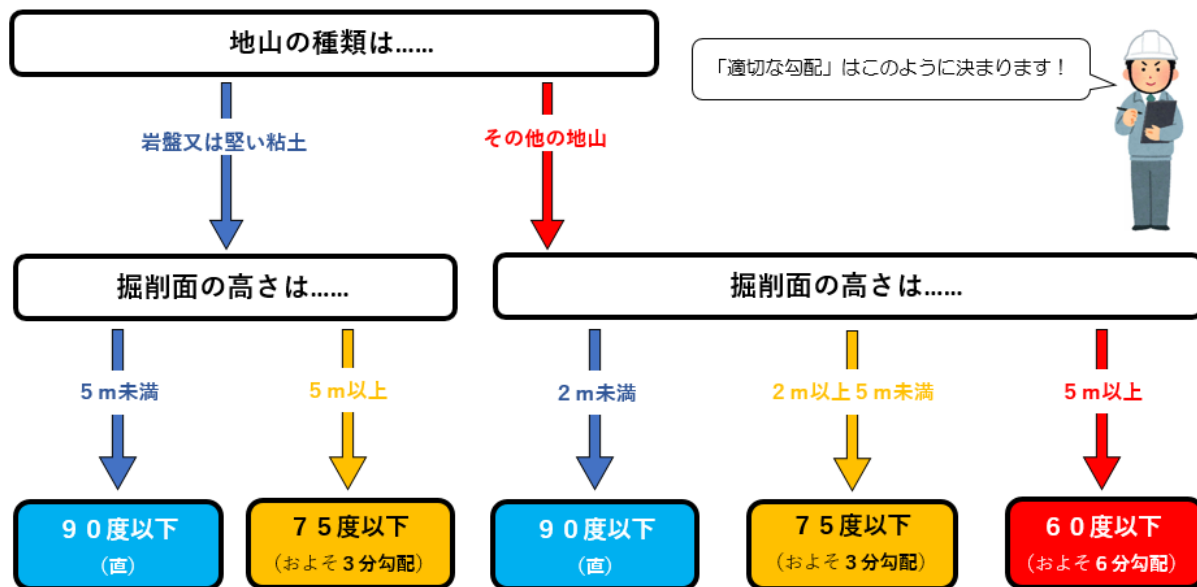
労働者1名が、重機を用いて掘削した深さ約2.5mの溝に入り、砂を敷きながら作業を行っていたところ、掘削箇所片側の側壁が崩壊し首付近まで土砂に埋まったもの。その後、被災者は**死亡**した。

掘削面の勾配はほぼ垂直であったが、**土止め支保工は設置されていなかった。**

地山の崩壊による災害は**死亡リスクが極めて高いもの**です。仮に一命を取り留めても、**重篤な障害が残る**こともあり、**被災者の人生に非常に大きな影響を与えます**。今一度、地山の崩壊防止対策の見直しをお願いいたします。

## 掘削面に適切な勾配を設けましょう！

- 掘削溝の中に作業員を立ち入らせる場合は、その地質と掘削深さに応じ、掘削面に**勾配**を設けなければなりません。



## 土止め支保工を設置しましょう！

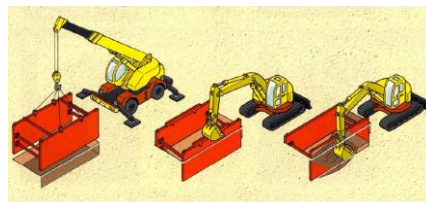
- 地山の崩壊等により労働者に**危険を及ぼすおそれのある時は、土止め支保工を設ける等の措置**を講じなければなりません。

### 確認していますか？ ～土止め支保工設置前のチェック事項～

- 安全に作業できる**手順**は決められていますか？  
あらかじめ安全作業手順を定め、関係労働者に周知することが必要です。
- 「**土止め支保工作業主任者**」は選任していますか？  
「土止め支保工作業主任者技能講習」修了者から選任しなければなりません。
- 土止め支保工の設置作業は**作業主任者が直接指揮**できますか？  
作業主任者が現場にいない日に土止め支保工を設置してはいけません。

### 土止め先行工法をご存じですか？

**土止め先行工法**とは、労働者が溝内に立ち入る前に支保工を設置でき、組立・解体も原則として溝内に立ち入ることなく行うことができる方法です。**従来工法と比べて、組立て解体中の労働者が被災するリスクを大きく下げられます。**工法も複数存在しますので、リーフレット『土止め先行工法とは』で詳細をご確認ください。



▲施工例（縦ばりプレート方式の「建て込み簡易土止め工法」）